

令和 3 年度

と か ち 広 域 消 防 事 務 組 合
一 般 会 計 歳 入 歳 出 決 算 審 査 意 見 書

と か ち 広 域 消 防 事 務 組 合 監 査 委 員

十消監査第 14 号
令和 4 年 10 月 26 日

とちぎ広域消防事務組合
組合長 米 沢 則 寿 様

とちぎ広域消防事務組合
監査委員 川 端 洋 之
監査委員 寺 林 俊 幸

令和 3 年度とちぎ広域消防事務組合一般会計歳入歳出決算の審査意見について

地方自治法第 233 条第 2 項の規定により審査に付された令和 3 年度とちぎ広域消防事務組合一般会計歳入歳出決算及び決算附属書類について審査したので、別紙のとおり意見を提出します。

目 次

第1	審査の対象	1
第2	審査の期間	1
第3	審査の方法	1
第4	審査の結果	1
1	決算収支の概要	2
2	予算の執行状況	2
(1)	歳入歳出決算の状況	2
ア	歳入	2
イ	歳出	3
ウ	消防費の決算状況	4
エ	消防施設費の決算状況	5
(2)	前年度対比増減の状況	6
ア	歳入	6
イ	歳出	6
(3)	性質別歳出の状況	7
(4)	分担金の状況	7
3	組合債及び債務負担行為の状況	8
(1)	組合債残高の状況	8
(2)	債務負担行為債務残高の状況	9
4	財産の状況	10
5	意見	10
(参考資料)		
1	分担金分賦状況調	12
2	火災等出動件数・救急出動・消防指令の状況	13

令和3年度とまち広域消防事務組合一般会計決算審査意見

第1 審査の対象

令和3年度とまち広域消防事務組合一般会計歳入歳出決算

第2 審査の期間

令和4年8月26日から令和4年10月25日まで

第3 審査の方法

決算審査に当たっては、とまち広域消防事務組合監査基準に準拠し、一般会計歳入歳出決算書（以下「決算書」という。）並びに歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書（以下「決算附属書類」という。）について、計数は正確か、予算執行及び財務処理は適正か、財政運営は健全か等に主眼をおいて審査を行った。

第4 審査の結果

令和3年度とまち広域消防事務組合決算書並びに決算附属書類は、関係法令に準拠して調製され、表示された計数は関係帳簿等と照合等の結果、適正であると認められた。

また、予算の執行については、別に実施した定期監査等において既に報告のとおり、全体を通して適正に執行されているものと認められた。

現金預金については、地方自治法第235条の2第1項の規定による例月出納検査において報告のとおり、その残高を確認した。

決算の概要及び意見については、次のとおりである。

(注釈)

文中に用いる金額は、原則として各計数値ごとに千円単位（千円未満は四捨五入）で表示した。ただし、表中では円単位で表示した。このため、総数とその内訳の合計等が符合しない場合がある。

また、表中の比率は、原則として小数点第1位で表示（単位未満は四捨五入）し、「0.0」と表示したものは、該当値はあるが単位未満のもの、「-」と表示したものは、該当値がないものである。

1 決算収支の概要

令和3年度における一般会計の決算額は、歳入6,735,202千円に対し、歳出は6,363,931千円で、形式収支は371,271千円の黒字であり、形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源4,498千円を差し引いた実質収支においても366,773千円の黒字となった。

第1表 決算収支の状況

(単位:円)

歳入 A	歳出 B	形式収支 C = A - B	翌年度 繰越財源 D	実質収支 C - D
6,735,201,708	6,363,930,998	371,270,710	4,497,856	366,772,854

2 予算の執行状況

(1) 歳入歳出決算の状況

ア 歳入

歳入の決算状況は、予算現額6,572,134千円に対し、収入済額は、6,735,202千円で、執行率は102.5%となり、163,068千円増加した。

また、不納欠損額及び収入未済額は生じなかった。

第2表 歳入科目別決算の状況

(単位:円・%)

科目 \ 区分	予算現額 A	収入済額 B	増△減額 B - A	執行率 B / A × 100
分担金及び負担金	6,072,745,000	6,072,745,000	0	100.0
使用料及び手数料	2,652,000	6,624,100	3,972,100	249.8
国庫支出金	14,818,000	14,818,000	0	100.0
繰越金	190,487,600	350,426,174	159,938,574	184.0
諸収入	21,231,000	21,288,434	57,434	100.3
組合債	270,200,000	269,300,000	△900,000	99.7
合計	6,572,133,600	6,735,201,708	163,068,108	102.5

第3表 予算対比増減の状況(歳入)

(単位:円)

科目 (款及び目)	予算額 A	決算額 B	増△減額 B - A	主な増△減理由
繰越金 繰越金	190,487,600	350,426,174	159,938,574	前年度繰越金の増

(注) 表中には、予算額に対して500万円以上の増減が生じた科目を記載している。

イ 歳出

歳出の決算状況は、予算現額 6,572,134 千円に対し、支出済額は、6,363,931 千円で、予算現額に対する執行率は 96.8%となり、203,705 千円の不用額が生じた。

また、繰越明許費により、4,498 千円を翌年度へ繰り越した。

第 4 表 歳出科目別決算の状況

(単位:円・%)

区分 科目	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A×100	翌年度 繰越額 C	不用額 A-B-C
議会費	934,000	921,335	98.6	0	12,665
総務費	17,852,000	16,798,474	94.1	0	1,053,526
消防費	627,475,000	567,841,906	90.5	4,497,856	55,135,238
消防施設費	489,581,600	480,282,067	98.1	0	9,299,533
公債費	67,175,000	66,032,706	98.3	0	1,142,294
職員費	5,367,116,000	5,232,054,510	97.5	0	135,061,490
予備費	2,000,000	0	0.0	0	2,000,000
合計	6,572,133,600	6,363,930,998	96.8	4,497,856	203,704,746

< 翌年度繰越額 >

(単位:円)

科 目		翌年度繰越額		
款	目	継続費 通次繰越	繰越明許費	事故繰越し
消防費	帯広消防署費		4,497,856	

第 5 表 予算対比増減の状況 (歳出)

(単位:円)

科 目 (款及び目)	予算額 A	決算額 B	増△減額 B-A	主な増△減理由
職員費 職員給与費	5,367,116,000	5,232,054,510	△ 135,061,490	職員構成の変動等による減

(注) 表中には、予算額に対して500万円以上の増減が生じた科目を記載している。

ウ 消防費の決算状況

決算額は、567,842千円で、前年度と比較して62,760千円、10.0%減少した。

予算執行の主な内容は、帯広消防署費111,129千円及び指令センター費109,606千円である。

予算執行の内容を節別に見ると、主なものは、需用費282,649千円、委託料143,622千円及び役務費69,305千円である。

また、予算現額に対する執行率は90.5%で、55,135千円の不用額が生じた。

第6表 消防費の決算状況（目別）

（単位：円・％）

科 目	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A× 100	翌年度 繰越額 C	不用額 A-B-C	前年度 決算額 D	対前年度 増△減 B-D
消 防 局 費	18,914,000	15,412,714	81.5	0	3,501,286	133,909,191	△ 118,496,477
指令センター費	112,552,000	109,605,890	97.4	0	2,946,110	105,096,064	4,509,826
帯広消防署費	120,322,000	111,129,025	92.4	4,497,856	4,695,119	95,365,362	15,763,663
音更消防署費	41,775,000	37,197,996	89.0	0	4,577,004	40,592,533	△ 3,394,537
士幌消防署費	17,542,000	14,610,968	83.3	0	2,931,032	13,288,347	1,322,621
上士幌消防署費	21,886,000	19,769,962	90.3	0	2,116,038	11,096,211	8,673,751
鹿追消防署費	11,175,000	10,695,948	95.7	0	479,052	11,887,113	△ 1,191,165
新得消防署費	15,877,000	15,273,608	96.2	0	603,392	12,955,896	2,317,712
清水消防署費	34,338,000	30,123,897	87.7	0	4,214,103	23,261,579	6,862,318
芽室消防署費	34,040,000	29,213,044	85.8	0	4,826,956	26,471,869	2,741,175
中札内消防署費	13,826,000	12,603,779	91.2	0	1,222,221	11,491,249	1,112,530
更別消防署費	11,178,000	10,199,058	91.2	0	978,942	8,850,898	1,348,160
大樹消防署費	15,287,000	13,736,882	89.9	0	1,550,118	12,542,425	1,194,457
広尾消防署費	20,356,000	18,973,834	93.2	0	1,382,166	17,668,339	1,305,495
幕別消防署費	32,177,000	29,859,778	92.8	0	2,317,222	27,653,349	2,206,429
池田消防署費	21,632,000	18,760,928	86.7	0	2,871,072	13,122,138	5,638,790
豊頃消防署費	15,672,000	12,770,983	81.5	0	2,901,017	12,206,571	564,412
本別消防署費	14,317,000	12,141,701	84.8	0	2,175,299	11,198,199	943,502
足寄消防署費	21,833,000	17,338,802	79.4	0	4,494,198	13,895,988	3,442,814
陸別消防署費	15,706,000	13,731,780	87.4	0	1,974,220	13,101,618	630,162
浦幌消防署費	17,070,000	14,691,329	86.1	0	2,378,671	14,947,105	△ 255,776
合 計	627,475,000	567,841,906	90.5	4,497,856	55,135,238	630,602,044	△ 62,760,138

エ 消防施設費の決算状況

決算額は、480,282千円で、前年度と比較して400,853千円、45.5%減少した。

予算執行の主な内容は、広尾消防施設費121,136千円、芽室消防施設費91,383千円及び清水消防施設費78,364千円である。

また、予算現額に対する執行率は98.1%で、9,300千円の不用額が生じた。

第7表 消防施設費の決算状況（目別）

（単位：円・%）

科 目	予算現額 A	支出済額 B	執行率 B/A ×100	翌年度 繰越額 C	不用額 A-B-C	前年度 決算額 D	対前年度 増△減 B-D
帯広消防施設費	8,739,000	8,728,192	99.9	0	10,808	590,306,078	△ 581,577,886
音更消防施設費	1,639,000	1,504,114	91.8	0	134,886	281,636	1,222,478
士幌消防施設費	715,000	141,169	19.7	0	573,831	352,988	△ 211,819
上士幌消防施設費	30,000	1,097	3.7	0	28,903	41,668,057	△ 41,666,960
鹿追消防施設費	42,590,000	42,255,725	99.2	0	334,275	60,917,609	△ 18,661,884
新得消防施設費	8,045,000	7,251,531	90.1	0	793,469	1,172,540	6,078,991
清水消防施設費	78,766,000	78,363,558	99.5	0	402,442	246,384	78,117,174
芽室消防施設費	91,473,000	91,382,810	99.9	0	90,190	-	91,382,810
中札内消防施設費	268,000	206,078	76.9	0	61,922	107,677	98,401
更別消防施設費	1,039,000	836,003	80.5	0	202,997	74,538,835	△ 73,702,832
大樹消防施設費	64,760,000	63,789,000	98.5	0	971,000	18,454,700	45,334,300
広尾消防施設費	122,270,000	121,136,400	99.1	0	1,133,600	0	121,136,400
幕別消防施設費	40,580,000	36,446,927	89.8	0	4,133,073	149,978	36,296,949
池田消防施設費	11,691,000	11,498,708	98.4	0	192,292	475,771	11,022,937
豊頃消防施設費	50,000	0	0.0	0	50,000	0	0
本別消防施設費	6,525,600	6,525,167	100.0	0	433	34,179,221	△ 27,654,054
陸別消防施設費	83,000	81,288	97.9	0	1,712	2,775,274	△ 2,693,986
浦幌消防施設費	10,318,000	10,134,300	98.2	0	183,700	-	10,134,300
足寄消防施設費	-	-	-	-	-	55,508,160	△ 55,508,160
合 計	489,581,600	480,282,067	98.1	0	9,299,533	881,134,908	△ 400,852,841

＜主な整備内容＞

鹿追消防施設費	災害対応特殊救急自動車更新	広尾消防施設費	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型更新
新得消防施設費	指揮車更新	幕別消防施設費	高規格救急自動車更新
清水消防施設費	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型更新	池田消防施設費	指揮広報車更新
芽室消防施設費	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型更新	本別消防施設費	ポータブルアイソレーター購入
大樹消防施設費	小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型更新	浦幌消防施設費	油圧救助器具購入

(2) 前年度対比増減の状況

ア 歳入

歳入の決算額は 6,735,202 千円で、前年度と比較して 515,551 千円、7.1%減少した。

これは主として、消防局と 19 消防署間のネットワーク化の完了及び消防車両購入費の減などに伴い分担金及び負担金が 376,227 千円並びに組合債が 284,700 千円減少したことによるものである。

第 8 表 歳入科目別前年度対比増減の状況

(単位:円・%)

科目	年度	令和3年度 A	令和2年度 B	増△減額 C = A - B	増△減率 C / B × 100
分担金及び負担金		6,072,745,000	6,448,972,000	△ 376,227,000	△ 5.8
使用料及び手数料		6,624,100	4,602,050	2,022,050	43.9
国庫支出金		14,818,000	17,277,000	△ 2,459,000	△ 14.2
繰越金		350,426,174	204,078,910	146,347,264	71.7
諸収入		21,288,434	21,822,770	△ 534,336	△ 2.4
組合債		269,300,000	554,000,000	△ 284,700,000	△ 51.4
合計		6,735,201,708	7,250,752,730	△ 515,551,022	△ 7.1

イ 歳出

歳出の決算額は 6,363,931 千円で、前年度と比較して 536,396 千円、7.8%減少した。

これは主として、帯広消防署の柏林台出張所整備の完了及び消防車両購入費の減などにより消防施設費が 400,853 千円並びに職員手当等の減により職員費が 89,411 千円減少したことによるものである。

第 9 表 歳出科目別前年度対比増減の状況

(単位:円・%)

科目	年度	令和3年度 A	令和2年度 B	増△減額 C = A - B	増△減率 C / B × 100
議会費		921,335	900,220	21,115	2.3
総務費		16,798,474	21,262,578	△ 4,464,104	△ 21.0
消防費		567,841,906	630,602,044	△ 62,760,138	△ 10.0
消防施設費		480,282,067	881,134,908	△ 400,852,841	△ 45.5
公債費		66,032,706	44,960,948	21,071,758	46.9
職員費		5,232,054,510	5,321,465,858	△ 89,411,348	△ 1.7
合計		6,363,930,998	6,900,326,556	△ 536,395,558	△ 7.8

(3) 性質別歳出の状況

歳出決算状況について、これを性質別にみると、義務的経費は 3,806,553 千円で、前年度と比較して 79,420 千円、2.0%減少した一方で、決算額に占める比率は、前年度より 3.5 ポイント上昇し 59.8%となった。

これは主として、義務的経費の減少が前年度と比較して、ほぼ横ばいであったのに対し、物件費や投資的経費が減少したことによるものである。

義務的経費以外の前年度対比では、補助費等が 10,838 千円、0.7%増加した一方で、投資的経費が 354,099 千円、42.8%、物件費が 115,801 千円、17.7%減少した。

第 10 表 性質別歳出前年度対比増減の状況

(単位:円・%)

区 分	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		対 前 年 度 増 △ 減	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	金 額	率
義務的経費	3,806,553,089	59.8	3,885,973,418	56.3	△ 79,420,329	△ 2.0
人件費	3,685,625,383	57.9	3,787,372,470	54.9	△ 101,747,087	△ 2.7
扶助費	54,895,000	0.9	53,640,000	0.8	1,255,000	2.3
公債費	66,032,706	1.0	44,960,948	0.6	21,071,758	46.9
物件費	538,230,463	8.5	654,031,506	9.5	△ 115,801,043	△ 17.7
維持補修費	11,209,278	0.2	9,122,969	0.1	2,086,309	22.9
補助費等	1,535,367,082	24.1	1,524,528,877	22.1	10,838,205	0.7
投資的経費	472,571,086	7.4	826,669,786	12.0	△ 354,098,700	△ 42.8
合 計	6,363,930,998	100.0	6,900,326,556	100.0	△ 536,395,558	△ 7.8

(4) 分担金の状況

構成市町村からの分担金は、共通経費が 722,949 千円、各消防署の個別経費が 5,349,796 千円で、合わせて 6,072,745 千円となり、前年度と比較して 376,227 千円、5.8%減少した。

第 11 表 分担金前年度対比増減の状況

(単位:円・%)

科目	年度	令和3年度 A	令和2年度 B	増△減額 C = A - B	増△減率 C / B × 100
消防分担金		6,072,745,000	6,448,972,000	△ 376,227,000	△ 5.8
共通経費		722,949,000	825,001,000	△ 102,052,000	△ 12.4
個別経費		5,349,796,000	5,623,971,000	△ 274,175,000	△ 4.9

※共通経費の主なものは、組合職員の職員費及び指令センター費であり、個別経費の主なものは、消防署の職員費及び各消防署が執行する消防費、消防施設費である。

3 組合債及び債務負担行為の状況

(1) 組合債残高の状況

年度末現在高は 1,544,974 千円で、前年度末と比較して 206,413 千円、15.4%増加した。

決算年度に借入れを行ったものは、清水消防署の水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型整備事業 38,800 千円、芽室消防署の化学消防ポンプ自動車Ⅱ型整備事業 86,400 千円、大樹消防署の小型動力ポンプ付水槽車Ⅱ型整備事業 32,600 千円及び広尾消防署の水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型整備事業 111,500 千円である。

第 12 表 組合債残高の状況

(単位:円)

区分	年度 令和2年度末 現在高 A	令和3年度増△減額			令和3年度末 現在高 D=A+B-C	対前年度 増△減 D - A
		借入額 B	償還額			
			元金 C	利子		
帯広消防署	995,331,015	0	20,435,015	2,783,507	974,896,000	△ 20,435,015
音更消防署	146,498,000	0	29,356,000	3,831	117,142,000	△ 29,356,000
清水消防署	23,826,000	38,800,000	2,166,000	23,284	60,460,000	36,634,000
芽室消防署	89,600,000	86,400,000	0	89,600	176,000,000	86,400,000
大樹消防署	31,900,000	32,600,000	2,900,000	31,175	61,600,000	29,700,000
広尾消防署	19,888,000	111,500,000	1,808,000	19,436	129,580,000	109,692,000
本別消防署	31,518,162	0	6,222,086	194,772	25,296,076	△ 6,222,086
合計	1,338,561,177	269,300,000	62,887,101	3,145,605	1,544,974,076	206,412,899

(2) 債務負担行為債務残高の状況

年度末残高は 82,260 千円で、前年度末と比較して 20,378 千円、32.9%増加した。

決算年度に新たに設定したものは、中札内消防署の北海道市町村備荒資金組合防災資機材の譲渡代金 22,253 千円及び帯広消防署の清掃業務委託 18,740 千円である。

第 13 表 債務負担行為債務残高の状況

(単位:円)

区分	年度 令和2年度末 残高 A	令和3年度増△減額		令和3年度末 残高 B	対前年度 増△減 B - A
		新規及び 変更	解 消		
清掃業務委託(帯広消防署)	2,902,734	0	2,902,734	0	△ 2,902,734
北海道市町村備荒資金組合防災資機材の譲渡代金(本別消防署)	6,480,810	0	3,240,567	3,240,243	△ 3,240,567
北海道市町村備荒資金組合防災資機材の譲渡代金(帯広消防署)	22,533,363	0	7,518,619	15,014,744	△ 7,518,619
LED照明賃貸借事業(土幌消防署)	648,648	0	199,584	449,064	△ 199,584
北海道市町村備荒資金組合防災資機材の譲渡代金(池田消防署)	1,418,478	0	473,298	945,180	△ 473,298
清掃業務委託(幕別消防署)	3,801,600	0	950,400	2,851,200	△ 950,400
北海道市町村備荒資金組合防災資機材の譲渡代金(音更消防署)	3,746,541	0	1,251,427	2,495,114	△ 1,251,427
清掃業務委託(音更消防署)	20,350,000	0	4,070,000	16,280,000	△ 4,070,000
北海道市町村備荒資金組合防災資機材の譲渡代金(中札内消防署)	-	22,252,902	8,269	22,244,633	22,244,633
清掃業務委託(帯広消防署)	-	18,739,670	0	18,739,670	18,739,670
合 計	61,882,174	40,992,572	20,614,898	82,259,848	20,377,674

4 財産の状況

(1) 公有財産の状況

ア 土地及び建物

決算年度中の増減はなかった。

イ 工作物

決算年度中の増減はなかった。

(2) 物品の状況

消防車両の更新や救助用資機材等の購入により、年度末現在高は 133 台となった。

第 14 表 財産に関する調書の状況

区分	種類	単位	令和 2 年度末 現在高	令和 3 年度中増△減高			令和 3 年度末 現在高
				増加	減少	増△減	
公有財産	行政財産 土地	m ²	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	建物	m ²	1,158.94	0.00	0.00	0.00	1,158.94
	工作物	円	1,983,966,450	0	0	0	1,983,966,450
物品	台		114	19	0	19	133

5 意見

令和 3 年度決算につきましては、前年度と同様、形式収支及び実質収支ともに黒字となりました。

事業運営につきましては、消防・救急車両の整備のほか、聴覚・言語機能の障害等により、音声による通報が困難な方の円滑な通報手段を確保するため、Net 119 緊急通報システムを導入するなど、消防の機能強化と住民サービスの向上が図られました。

今後とも、構成市町村との緊密な連携を図りながら、「十勝圏広域消防運営計画」の着実な推進により、広域化による効果を最大限発揮し、より一層、住民の安全・安心な暮らしを支える消防体制の充実強化に努められることを期待します。

参 考 资 料

1 分担金分賦状況調

(単位:円)

市町村	区分	共通経費	個別経費	各市町村 分担金合計
帯	広市	321,228,000	1,513,680,000	1,834,908,000
音	更町	67,978,000	454,518,000	522,496,000
士	幌町	16,381,000	153,749,000	170,130,000
上	士幌町	16,066,000	158,335,000	174,401,000
鹿	追町	15,426,000	176,815,000	192,241,000
新	得町	18,427,000	178,765,000	197,192,000
清	水町	23,289,000	276,908,000	300,197,000
芽	室町	34,169,000	295,002,000	329,171,000
中	札内村	12,988,000	130,469,000	143,457,000
更	別村	12,517,000	131,824,000	144,341,000
大	樹町	16,112,000	184,366,000	200,478,000
広	尾町	19,734,000	205,516,000	225,250,000
幕	別町	48,290,000	500,268,000	548,558,000
池	田町	19,139,000	172,086,000	191,225,000
豊	頃町	14,104,000	143,458,000	157,562,000
本	別町	18,066,000	178,970,000	197,036,000
足	寄町	17,996,000	197,612,000	215,608,000
陸	別町	11,661,000	140,932,000	152,593,000
浦	幌町	19,378,000	156,523,000	175,901,000
合	計	722,949,000	5,349,796,000	6,072,745,000

(注1) 共通経費の主なものは、組合職員の職員費及び指令センター費である。

(注2) 個別経費の主なものは、消防署の職員費及び各消防署が執行する消防費、消防施設費である。

2 火災等出動件数・救急出動・消防指令の状況

(単位:件・人)

市町村(消防署)	区分	火災等 出動件数	救急出動・搬送状況		消防指令件数 (発生市町村)
			出動件数	搬送人数	
帯 広 市		473	7,388	6,273	7,957
音 更 町		85	1,617	1,466	1,813
士 幌 町		15	284	264	266
上 士 幌 町		22	251	243	302
鹿 追 町		11	170	166	167
新 得 町		19	239	232	253
清 水 町		67	321	302	437
芽 室 町		50	778	697	853
中 札 内 村		15	175	173	184
更 別 村		23	138	134	161
大 樹 町		24	233	217	270
広 尾 町		33	302	284	354
幕 別 町		62	1,079	1,014	1,136
池 田 町		11	355	334	382
豊 頃 町		14	167	153	199
本 別 町		23	334	322	361
足 寄 町		20	382	365	417
陸 別 町		9	122	118	125
浦 幌 町		20	171	154	204
管 外 出 動		-	-	-	8
合 計		996	14,506	12,911	15,849

(注1)火災等出動件数、救急出動・搬送件数は、「令和3年版 消防年報」の数値によるため、令和3年1月1日から令和3年12月31日の数値である。

(注2)消防指令件数のうち、市町村の区域を超えた指令件数は、774件である。